



# 帯山小学校だより

No.7 R5.10.2 文責 校長 西方 浩一

## 教員は「いい仕事」です！

「学校はブラックな職場」本当にそうでしょうか？  
私が運動場でごみ拾いをしていると「ゴミ拾い手伝います。」と言って後ろを追いかけてくる子どもたち。

学校の周りに出てみると、足を怪我した女の子の手を引いて登校する男の子の姿。「優しいね。」と声をかけると、「校長先生、この子はいつも優しいんですよ。」とほめてくださる保護者の方。

敬老の日の前の休日に、本校合唱部の子どもたちが地域の敬老会に出演した際には、その歌声に感動し、涙を流しながら喜んでくださる地域の方々。

「校長先生、〇〇さんが九九を言えるようになりました！」と自分のことのように喜んだり、職員会議で子どもの頑張りやよさを伝え合ったりしている本校の職員。

「教員は、教員にしか、学校現場でしか味わえないよさがある」と心から思います。

「教員はブラックだ！」と叩いて「教員のなり手がいない」と騒ぐ世論。少なくとも私は胸を張って「教員は『いい仕事』です。」と自慢したいと思います。



## 第78回九州合唱コンクール

先月23日(土)、熊本県立劇場で行われた標記のコンクールで合唱部が銀賞を受賞しました。学級閉鎖等の影響を受けながらも、当日は素晴らしい歌声を九州各県の皆さんに披露してくれました！

## 江戸しぐさ

10月の生活目標は「落ち着いた生活をしよう」です。そこで、全校集会では、「江戸しぐさ」についての話をします。江戸時代、傘をさしてすれ違う時には「傘かしげ」といって相手に水滴がかからないようにしたり、「七三歩き」といって急ぐ人に道の真ん中を譲り道路の端を歩いたりしたそうです。「江戸しぐさ」で大切にされてきたものは、相手を気遣う「思いやりの心」です。



帯山小学校には「思いやり宣言」があります。思いやりの心をもって、まずは、「廊下は右側を静かに歩く」ことから始めてほしいと思っています。

## 一枚の葉書



敬老の日の前に、一枚の葉書が我が家に届きました。県外に住む子どもが、保育園で作成した自分の子ども（私にとっては孫）の手形を送ってくれたのです。「何で我が家に届くのだろう。じいちゃん・ばあちゃんならば、私の実家に送ればいいのに…。」しばらくして、「うん、まてよ。そうか、私たちがじいちゃんとばあちゃんか!!」夫婦で笑った一コマでした。